

g) 実習プログラムの内容・特徴

○介護実習の目標

校内で学んだ学習を基盤として、介護に必要な知識・技術を統合し、対象者に応じた介護実践能力と態度を養う。

○学年毎の実習内容

介護実習の内容については、「福祉系高等学校の設置及び運営に関わる指針」（19 文科発第 1403 号・厚生労働省社援発第 0328004 号平成 20 年 3 月 28 日）の規定に沿って行う。

実習先と十分連携を取り、事前指導を行い、校内で学んだ基本的な知識と技術を実習で活用し、介護実習の目標が到達できるよう計画する。

○実習時間

1 日の実習時間は、午前 9 時から午後 4 時 55 分までの 7 時間 55 分（休憩 50 分を含む）で行う。

介護実習 1 日あたりのカウントは、8 単位時間（1～8 時限）とし、9 時限（25 分）を行う日は、帯時間の扱いで 2 日間で 1 単位時間とする。

○特徴

福祉マインドの育成の上に、専門職としての資質を高めるように、実習を計画している。

地域福祉の推進の一助になれるよう、できるだけ地域の福祉施設や生徒の通学圏のある施設にて実習を行っている。